



大船渡水産振興センター「復興板」

平成30年8月27日発行 第66号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成30年7月31日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、75%となっています。(平成30年7月31日現在)

	災害査定 (H29再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	242	34,194,563	238	32,406,039	32,217,666	94	227
漁港海岸	11	35,568,708	11	25,759,005	19,852,021	56	3
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合計	255	70,262,151	251	58,663,924	52,568,567	75	232

・ さっちゃんNEWS part1



アユのつかみ取り



投網実演

< 8年ぶりに「盛川あゆっこまつり」が再開されました >

8月5日に、大船渡市内の立根川において、東日本大震災以後中断していた「盛川あゆっこまつり」が8年ぶりに再開されました。

このまつりは、盛川漁協が中心となって組織された実行委員会により毎年開催されており、このたび震災により被災したアユ生産施設が復旧したことから、開催の運びとなりました。

当日は約5,000匹のアユが開催者により用意され、多くの家族連れが笑顔でつかみ取りに興じ、川に親しんでいました。



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成30年度	水産物荷捌き施設	大船渡市漁業協同組合（12月着工予定）

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況（平成30年1月1日から7月末累計）

平成30年		平成29年		震災前 (H20～H22の平均)		前年比 (H30/H29)		震災前（H20～ H22の平均）との 対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
15,235	1,848,676	10,564	1,289,807	16,050	1,674,760	144	143	95	110

出典：いわて大漁ナビ

平成30年1月から7月までの水揚げ量は、昨年比で1.4倍、震災前との対比でほぼ同量でした。水揚げの主な魚種は、イサダ(5,885トン、629,072千円)、マイワシ(4,902トン、250,814千円)、サバ類(2,508トン、212,151千円)などでした。イサダ漁が漁期を通じて好漁だったこと、マイワシが1～2月に定置網で、5～6月にまき網で好漁だったことなどにより、昨年より水揚げが増えています。なお、7月の水揚げ量は、昨年比でマイワシが約2割、サバ類が約1割だったことなどにより、全魚種で約4割にとどまっています。

・ さっちゃんNEWS part2

ひのう <マボヤの被囊軟化症対策>

マボヤ被囊軟化症は、国が定める特定疾病※で、国内では平成19年に宮城県で初めて発生が確認され、県内でも発生が確認されているホヤの病気です。韓国ではこの病気が平成7年ごろに確認され、同国のホヤ養殖に壊滅的な打撃を与えています。

県では「岩手県マボヤ被囊軟化症対策ガイドライン」を作成し、まん延防止対策に取り組んでいます。本疾病が発生した場合は、本ガイドラインに基づき、直ちに症状が見られるホヤの処分を行うとともに、症状が見られないホヤについても発生漁場から他漁場への移動を禁止するよう、関係する漁業協同組合等へ指導しています。

大船渡管内では、震災後は現在のところ発生が確認されておりませんが、当管内でも本ガイドラインに従い年2回の調査を行っています。

なお、この疾病は人に被害を及ぼすものではなく、出荷には問題がありません。

※特定疾病とは、国内における発生が確認されておらず、または国内の一部にのみ発生している養殖水産物の伝染病で、まん延した場合に養殖水産動植物に重大な損害を与える恐れがあるものとして農林水産省で定められているもの。



発症個体

マボヤ被囊軟化症の主な症状

- ①殻が薄くなる
- ②症状が進むと柔らかくしぼんだ状態になる
- ③殻が破れて身が飛び出していることがある



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp